

# Ciné-là

**NEWS**

VOL.334

Fukuoka City  
Public Library  
Movie Hall  
Cine-là

1

January, 2026

企画上映

## 内田吐夢と山下耕作 日本映画量産期の洗練について

アーカイブ・コレクション Part 21 小田香：地下世界と

アーカイブ発見

通年上映

小田香監督作品「Underground アンダーグラウンド」(2024)



【料金】〈内田吐夢と山下耕作 日本映画量産期の洗練について〉〈アーカイブ発見〉大人=500円／大学生・高校生=400円／中学生・小学生=300円

福岡市在住の65歳以上の方・わたくしクラブ会員=250円(要証明書・会員証原本提示)／障がいの方および介護者の方1名=無料(要証明書提示)

〈アーカイブ・コレクション Part 21 小田香：地下世界と(※「Underground アンダーグラウンド」を除く)〉

大人=600円／大学生・高校生=500円／中学生・小学生=400円

福岡市在住の65歳以上の方・「わたくしクラブ」会員／障がいの方および介護者の方1名=300円(要証明書・会員証原本提示)

「Underground アンダーグラウンド」一般=1,400円／学生(大学生・高校生・中学生・小学生)および各種割引=700円

※以下の方が割引となります(要証明書・会員証原本提示)。①福岡市在住の65歳以上の方／②「わたくしクラブ」会員／③障がいの方および介護者の方1名

□ 定員(242席+車椅子席4席)・各回入替制／当日券のみ・各回上映の1時間前から販売(上映開始の30分後まで)

fiaf

【国際フィルムアーカイブ連盟】

FIAFは映画の保存を目的とする国際団体です。

福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

# 内田吐夢と山下耕作 日本映画量産期の洗練について

映画が娯楽の頂点となり、そこから徐々に変容していく時代の、ふたりの映画監督による作品を上映します。

1月7日[水]～1月12日[月祝]、1月15日[木]～1月18日[日]、1月21日[水]

◎すべて福岡市総合図書館蔵作品／特に表記のないものは35ミリフィルム上映

土

7 [水] 14:00 12 [月祝] 11:00



勤次一家は4人家族で妻は亡くなっていた。ある時、舅の卯平は不注意から火事を出してしまう。長塚節の原作小説は農民文学の代表作。土にしがみつく農民の救いのない生活が丹念に描かれる。撮影は3年の長期に及び、地味な文学映画にも関わらず大ヒット、内田吐夢監督の戦前の代表作である。※冒頭とラストが欠落しています。欠落個所のシナリオ抜粋を付けて上映します。ご了承ください。

1939/日本(日活多摩川)/白黒/94分/16ミリフィルム上映  
監督:内田吐夢 出演:小杉勇、風見章子

飢餓海峡

9 [金] 14:00 18 [日] 14:00



昭和22年。函館で三人組の男が質屋を襲い放火をする。主犯の犬飼多吉は、仲間の二人も殺害し本州に姿を消す。函館署の刑事・弓坂は犬飼の行方を追うが不明だった。そして10年の歳月が流れると、弓坂の執念の捜査は続いている。原作は水上勉の小説。弓坂刑事を演じる伴淳三郎の演技は特筆もの。芸術選奨文部大臣賞など数々の賞に輝いた日本映画史に残る傑作の一本。

1964/日本(東映東京)/白黒/182分  
監督:内田吐夢 出演:三國連太郎、伴淳三郎、左幸子

花と龍

10 [土] 11:00 15 [木] 14:00



明治末期の北九州・門司。玉井金五郎は一旗揚げようと四国から北九州にやって来る。石炭を船に積み込む沖仲士になった金五郎は出世し、やがて玉井組が誕生する。火野葦平の小説「花と竜」の映画化。玉井金五郎は実在の人物で火野葦平の父親。若き玉井金五郎の熱血溢れる青春映画で、中村錦之助が明るいタッチで金五郎を演じる。

1965/日本(東映京都)/カラー/97分  
監督:山下耕作 出演:中村錦之助、佐久間良子

山口組外伝 12 [月祝] 14:00 15 [木] 11:00  
九州進攻作戦

The Tattooed Hitman



昭和32年、ヤクザの夜桜銀次は敵対する組幹部を殺害し大阪に身を隠す。やがて銀次は山口組の九州制覇の野望の中で、博多の兵藤組のもとに身を寄せることに。昭和36年、博多には一発即発の空気が流れていた。最後の侠客、最も有名な鉄砲玉といわれ破乱万丈の生涯を送った実在の人物、夜桜銀次を、「仁義なき戦い」シリーズの菅原文太が演じ、その生涯を描いた。

1974/日本(東映京都)/カラー/106分  
監督:山下耕作 出演:菅原文太、渡瀬恒彦

血槍富士

Bloody Spear at Mount Fuji

中国抑留から帰還した内田吐夢の戦後第一作。

日頃はきわめて人がよくて温厚だが、酒癖が悪く禁酒中の若侍・小十郎は、槍持ちの権八とお供の源太を帯同して東海道を江戸に向かっていた。宿場町の宿で起きた人間模様と主人に対する忠義を全うする槍侍の姿を絡ませた人情味あふれる時代劇。戦前の月方龍之介主演「道中悲記」のリメイク。

1955/日本(東映京都)/白黒/94分  
監督:内田吐夢 出演:片岡千恵蔵、月形龍之介

8 [木] 11:00 18 [日] 11:00



妖刀物語

8 [木] 14:00 17 [土] 11:00

花の吉原百人斬り

Hero of the Red-Light District (Killing in Yoshiwara)

江戸時代。寺の門前に捨てられた赤ん坊は裕福な商人の夫婦に拾われ、次郎左衛門と名付けられる。次郎左衛門は熱心に働き店を継ぐが、生まれつき顔に醜い痣があり、結婚することができなかった。ある日友人に誘われ吉原に行った次郎左衛門は、遊女の玉鶴と出会い夢中になる。歌舞伎の原作を脚本化した作品。内田吐夢監督の演出の特色がよく出ており、再評価の機運が高まっている。

1960/日本(東映京都)/カラー/109分  
監督:内田吐夢 出演:片岡千恵蔵、水谷良重



A Fugitive from the Past

人生劇場

飛車角と吉良常

Hishakaku and Kiratsune:  
A Tale of Two Yakuza

上海から戻った吉良常は東京にやってくる。侠客の飛車角は義理のある小金井一家の助っ人となり、対立する大横田の身内を殺害する。飛車角は吉良常にかくまれるが、結局自首する。4年後、飛車角の女だったおとよは、小金井一家の宮川と恋仲になっていた。尾崎士郎の「人生劇場」の第3部「残侠編」を映画化した作品。スター勢揃いの豪華キャスティングで、任侠道を格調高く描いた。

1968/日本(東映東京)/カラー/109分  
監督:内田吐夢 出演:鶴田浩二、若山富三郎、藤純子

9 [金] 11:00 17 [土] 14:00



真剣勝負

11 [日] 11:00 21 [水] 11:00

Swords of Death

宮本武蔵(中村錦之助)は、枯れ野の一軒家、宍戸梅軒の家に一夜の宿となる。夜酒を飲み談じる内に梅軒は、武蔵こそが女房お楳の兄を殺した仇であることを悟る。梅軒は手下の8人衆を集めて武蔵を襲わせるが、武蔵は彼らを次々と倒し、鎖鎌の達人・梅軒と対決する。「宮本武蔵」五部作の番外編であり、内田吐夢監督の遺作となった一級の娯楽時代劇。



1971/日本(東宝)/カラー/76分  
監督:内田吐夢 出演:中村錦之助、沖山秀子

花と龍

10 [土] 14:00 16 [金] 14:00

洞海湾の決斗

Flower and Dragon:  
Duel of the Sea Caves



玉井組を起こした金五郎は、喧嘩のとばっちりから江崎組に決闘状を叩きつけられる。仲裁に出たのは沖仲士を一手に牛耳ろうという野望を持つ友田だが、金五郎はこれをチャンスと組合の結成を呼びかける。それを快く思わない友田は、金五郎暗殺を指示するのだった。「花と龍」の続編であり、当時、任侠映画が大ヒットしており、「花と龍」より任侠映画の味付けが濃くなっている。

1966/日本(東映京都)/カラー/92分  
監督:山下耕作 出演:中村錦之助、佐久間良子

日本女侠伝

11 [日] 14:00 16 [金] 11:00

侠客芸者

Chivalrous Geisha

明治の末期、石炭ブームに沸く博多。博多一人の人気芸者・信次は、鉱業会社社長・大須賀にはなびかず、花田炭坑の甲山たちの座敷にてる。大須賀は土地のヤクザと結託して炭坑を買い占めようとしていた。花田炭坑の清吉は大須賀の企みに信次と共に対抗する。「絆牡丹博徒」シリーズと並ぶ藤純子の人気シリーズ第一作。藤純子が、男にも負けない馬鹿芸者を演じる。



1969/日本(東映京都)/カラー/99分  
監督:山下耕作 出演:高倉健、藤純子

1965/日本(東映京都)/カラー/97分  
監督:山下耕作 出演:中村錦之助、佐久間良子

【通年上映】 Discover the Archive

アーカイブ発見

多様なジャンルの作り手が交差する1960-70年代に制作された実験映画作品を、収蔵フィルムで上映します。

伝説の午後  
いつか見たドラキュラ



Emotion

吸血鬼に恋する若い女性の物語に沿って、めまいのするような圧倒的な映像表現で綴る。衝撃をもって迎えられた大林宣彦初期の自主制作作品。

1967/日本/カラー/39分  
監督:大林宣彦

トマトケチャップ皇帝

Emperor Tomato Ketchup

不確かな未来を舞台に、子どもたちが大人を打倒し自らの帝国を築いた世界を描く。ツーロン映画祭審査員特別賞、カンヌ映画祭監督週間招待作。

1970/日本/白黒/27分  
監督・脚本:寺山修司



10 [土] 17:00 17 [土] 17:00

(3作品/計82分/すべて16ミリ上映)

迷宮譚 Labyrinth Tale

「この映画は扉についてである。扉はスクリーンのメタファーだ。スクリーンとは白い四角い布ではなく、観客が参加できる空間へと開かれる扉である」と、寺山は本作について語っている。

1975/日本/白黒/16分  
監督・脚本:寺山修司

# アーカイブ・コレクション Part 21 小田香:地下世界と

地下世界を覗くとらえ、身の回りの世界を慈しむように眼差す。

小田香による驚きの映画群が、福岡市総合図書館へ新規寄贈され特集上映を催します。

1月22日[木]～1月25日[日]、1月28日[水]～1月31日[土]

◎すべて小田香監督作品／デジタル上映／「Underground アンダーグラウンド」のみ料金が異なります／詳しくは表面をご参照ください

## 1月24日[土] イベント

いずれも上映とセットで  
ご鑑賞いただけます

11:00

「カラオケ喫茶ボサ」「母との記録「働く手」」  
上映後Q&A

14:00

「Underground アンダーグラウンド」  
上映後トーク(15:25-16:20予定)

登壇者:小田香(おだ・かおり)

1987年大阪府生まれ。フィルムメーカー／アーティスト。

映画・映像を制作するプロジェクトの中では「我々の人間性とは  
どういったもので、それがどこに向かっているのか」を探求す  
る。2013年タルベーラが陣頭指揮するfilm.factoryに第  
1期生として招請。初長編作品2015年『鉱 ARAGANE』

が山形国際ドキュメンタリー映画祭2015・アジア千波万  
波部門特別賞受賞。大島渚賞(2020年・第1回)、芸術  
選奨文部科学大臣新人賞(2021年・第71回)受賞。



2本立て上映

## ノイズが言うには

Thus A Noise Speaks



夏休みに一時帰国した主  
人公は、23歳の誕生日に  
自身が性的少数者であると  
家族に告白する。家族の協  
力のもと己の告白について  
の映画をつくりはじめる。映画制作を通じ、各々が自己を  
演じ、その言動を追体験するなかで、無きものになりつ  
つあった告白が再び家族の前に提示される。なら国際映  
画祭2011 NARA-wave部門観客賞。

2010／日本(FieldRain)／カラー／38分

22 [木] 11:00 29 [木] 14:00

## 短編集A (5作品・74分)

- ◇ひらいてつぼんで The Thread of Red Cocoons  
2012／カラー／13分
- ◇呼応 Ko Oh 2014／カラー／19分
- ◇FLASH 2015／カラー／25分
- ◇色彩論 序章 Theory of Colours: prologue  
2017／白黒／6分
- ◇天 TEN 2017／カラー／11分



天 TEN

25 [日] 14:00 30 [金] 14:00

## FUKUSHIMA with BÉLA TARR



2024年2月、世界的な映  
画作家タル・ベーラによる  
ワークショップが福島県内の  
12市町村を舞台に行わ  
れた。世界中から集ま  
た若手映画監督が自ら題材を見つけ、短編映画集を作り  
上げる過程をタル・ベーラの愛弟子・小田が撮影・編集し  
た。いままさに生まれようとする作品をめぐる対話と、作  
り手同士の緊張感が活写されている。

2024／日本(FieldRain)／カラー／180分／日本語・英語字幕付き

24 [土] 14:00 31 [土] 11:00

## Underground アンダーグラウンド

Underground

地下の暗闇から現れた「シャドウ(影)」は女の姿を借り、時代も場所も超えた旅に出る。シャドウは地下鉄が走る音を聞き、戦争で多くの人々が命を落としたほら穴の中で死者の声に耳を澄ませる。山奥の寺では、壁面に彫られた仏のために読経する僧侶のかたわらに身を寄せ  
る。かつてその場所で起きたことをトレースするシャドウは、ある映像に導かれ、湖の底に沈んだ街へと向かう。

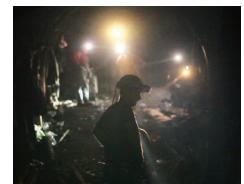


©2024 trixta

2024／日本(trixta)／カラー／83分 出演:吉開菜央

## 鉱 ARAGANE

Aragane



ボスニアの首都サラエボ近郊の100年の歴史あるブレザ炭鉱。闇の中で蠢く男たちのヘッドランプが交錯し、爆音で鳴り続ける採掘重機と歯車、そしてツルハシの響き。地下300メートルの死と隣り合わせの空間に、小田は単眼カメラを持ち込みひたすら見つめる。世界中の映画祭で衝撃を持って迎えられた小田監督の代表作。

2015／ボスニア=日本／カラー／68分／日本語字幕付き

22 [木] 14:00 31 [土] 17:00

## セノーテ

TS'ONOT | Cenote



メキシコ、ユカタン半島北部に点在する、セノーテと呼ばれる洞窟内の泉。現世と黄泉の世界を結ぶと信じられていたセノーテをめぐって交錯する、人々の過去と現在の記憶。光と闇の魅惑の映像に遠い記憶がこだまする。本作で、2020年に設立された大島渚賞では審査委員長・坂本龍一の激賞を得て、第1回受賞という快挙となった。

2019／メキシコ=日本／カラー／75分／日本語・英語字幕付き

23 [金] 14:00 31 [土] 14:00

## GAMA

沖縄戦で多くの住民が命を落とした自然洞窟「ガマ」の中で、平和の語り部としてガイドを務める男性。その傍らに併む青い服の女性が、現代と過去の交差を表現する。映画作家・ダンサーの吉開菜央が「Underground アンダーグラウンド」に繋がる、シャドウ(影)という女性を体现し、歴史と記憶に触れる小田の新境地となった。



2023／日本(豊中市芸術文化センター=トリクスター)／カラー／53分

## あの優しさへ

Toward A Common  
Tenderness

小田の生まれ故郷である日本で撮影した私的な映像とサラエボのフィルムスクールで学んだ3年間の授業の中で撮影した未使用のフッテージを使用し、性の問題を抱える人々、国境を越えての対話、貧しさや労働についてなどを問うパーソナルな作品。ライプティヒ国際ドキュメンタリー＆アニメーション映画祭2017正式出品。



2017／日本(FieldRain)／カラー／63分

23 [金] 11:00 29 [木] 11:00

## 短編集B (8作品・76分・すべてカラー)

- ◇シネ・ヌーヴォ 20周年プロジェクト  
Cine nouveau 20th Anniversary Project 2017／18分
- ◇TUNE 2018／6分
- ◇風の教会 Wind Church 2018／25分
- ◇Night Cruise 2019／7分
- ◇OUR CINEMAS 2018-2020／4分
- ◇水景 Water Scape  
2020／6分
- ◇夜行列車 Night Train  
2021／10分
- ◇Lighthouse 2024／13分



風の教会 Wind Church

2本立て上映

## カラオケ喫茶ボサ

Karaoke Cafe BOSA

カラオケ喫茶ボサは大阪の郊外にある、歳を重ねたご近所さんたちがカラオケしたり休んだりする場所。小田監督は、母が働くその場所で、タイムカプセルに残すように、人々の痕跡やそこに宿る記憶を焼き付ける。



2022／日本(FieldRain)／カラー／13分

24 [土] 11:00

## 母との記録「働く手」

Recording with Mother  
'Working Hands'

恵比寿映像祭2025のコミッション・プロジェクト出品作。「ノイズが言うには」(2010)、「カラオケ喫茶ボサ」(2022)に続く母と共に作してきた3作目。母が、自分が歩んできた道を遡るように語ってゆく。



2025／日本(FieldRain)／カラー／25分

1 [木]	休館日		
2 [金]	休館日		
3 [土]	休館日		
4 [日]	休館日		
5 [月]	休館日		
6 [火]	休映日		
7 [水]	14:00 ●土		
8 [木]	11:00 ●血槍富士	14:00 ●妖刀物語 花の吉原百人斬り	
9 [金]	11:00 ●人生劇場 飛車角と吉良常	14:00 ●飢餓海峡	
10 [土]	11:00 ●花と龍	14:00 ●花と龍 洞海湾の決斗	17:00 ★大林宣彦+ 寺山修司実験映画集
11 [日]	11:00 ●真剣勝負	14:00 ●日本女侠伝 侠客芸者	
12 [月祝]	11:00 ●土	14:00 ●山口組外伝 九州進攻作戦	
13 [火]	休館日		
14 [水]	休映日		
15 [木]	11:00 ●山口組外伝 九州進攻作戦	14:00 ●花と龍	
16 [金]	11:00 ●日本女侠伝 侠客芸者	14:00 ●花と龍 洞海湾の決斗	
17 [土]	11:00 ●妖刀物語 花の吉原百人斬り	14:00 ●人生劇場 飛車角と吉良常	17:00 ★大林宣彦+ 寺山修司実験映画集
18 [日]	11:00 ●血槍富士	14:00 ●飢餓海峡	
19 [月]	休館日		
20 [火]	休映日		
21 [水]	11:00 ●真剣勝負		
22 [木]	11:00 ◇短編集A	14:00 ◇鉱 ARAGANE	
23 [金]	11:00 ◇短編集B	14:00 ◇セノーテ	
24 [土]	11:00 ◇カラオケ喫茶ボサ +母との記録「働く手」 上映後Q&A 小田香監督	14:00 ◇Underground アンダーグラウンド 上映後トーク 小田香監督	17:00 ◇ノイズが言うには+ あの優しさへ
25 [日]	11:00 ◇GAMA	14:00 ◇FUKUSHIMA with BÉLA TARR	
26 [月]	休館日		
27 [火]	休映日		
28 [水]		14:00 ◇ノイズが言うには+あの優しさへ	
29 [木]	11:00 ◇短編集B	14:00 ◇短編集A	
30 [金]	11:00 ◇GAMA	14:00 ◇FUKUSHIMA with BÉLA TARR	
31 [土]	11:00 ◇Underground アンダーグラウンド	14:00 ◇セノーテ	17:00 ◇鉱 ARAGANE

●=[企画上映] 内田吐夢と山下耕作 日本映画量産期の洗練について

◇=[企画上映] アーカイブ・コレクション Part 21 小田香:地下世界と

★=[通常上映] アーカイブ発見

## [2-3月のシネラ上映予告]

●アンソロジー・フィルムアーカイブス 映画コレクション(仮)

●アジアの女性映画監督再考

第8期:マレーシア/モンゴル/タイ/東ティモール/ウズベキスタン/シンガポール

[自主上映のお知らせ]

## 福岡映画サークル協議会

上映作品:『ホワイトバード はじまりのワンダー』

(2024/アメリカ/121分/監督:マーク・フォスター)

日時 2月1日[日] ①11:00 ②14:00

料金 当日一般1,500円/前売1,300円/シニア1,200円\*/

障がいのある方1,000円\*/中高生800円\*

※当日のみ/詳細については主催者へお問い合わせください。

主催 福岡映画サークル協議会 | TEL:092-781-2817

『小田香:地下世界と』関連イベント

## 「その土地で映像を紡ぐこと」 小田香作品上映+トークイベント

主催 里山社 協力 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会

日時 1月23日[金] 19:00開始・映画上映+トーク

会場 里山社スペース dongbaek(トンベク)(城南区別府7-1-12-102)

登壇 小田香(フィルムメーカー/アーティスト) 聞き手 清田麻衣子(里山社)

料金 2,000円(当日受付時に現金でお支払いください)

定員 22名

予約 予約はこちら

<https://forms.gle/KF4B2NibKqXAg0As9>

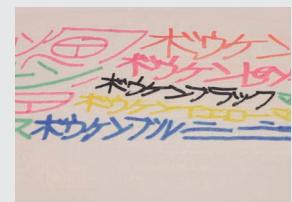


上映作品(2作品) いずれも小田香監督作品

### これるおん 27 sep - 5 oct

2021/日本/62分

青森県五所川原にある、ラテン語の「colere(耕す)」を語源とする福祉作業所兼ゲストハウス・colere-ON(これるおん)の日常をスケッチのように記録した映像作品。



### ホモ・モビリタス

2022/日本/12分

青森県南地域を走る青い森鉄道をはじめ、県内の車窓風景を撮影。デジタルビデオカメラで撮影した映像に、直接ペイントを施した8ミリフィルムの映像を組み合わせた。



詳細は里山社公式サイトをご覧ください <https://satoyamasha.com>



#### [交通アクセス]

当館の駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。市営地下鉄/西新駅または藤崎駅下車徒歩15分 西鉄バス・博多駅、天神、西新から福岡タワー南口または博物館南口下車徒歩5分・藤崎駅から福岡タワー南口下車徒歩5分 ○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時刻、お近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話:050-3616-2150)へお問い合わせください。

## 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

T814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

(代表) TEL: 092-852-0600 | FAX: 092-852-0609

うえぶシネラ=<http://www.cinela.com> ⇒

発行:映像ホール・シネラ実行委員会

グリーン購入法に適合している用紙を使用しています

助成: NCF 公益財団法人  
西日本シティ財團

